

競 技 注 意 事 項

- 1 競技は 2020 年度日本陸上競技連盟競技規則による。
- 2 点呼(100m ゴール後方)はプログラムに示された招集完了時刻までに張り出された点呼用紙の自分のビブス番号に○をし、トラック競技の場合は腰ナンバーを各自で取り招集完了時刻の 5 分後迄に現地集合し出発係のチェックを受ける。本人が現地にいない場合は失格となる。
- 3 選手はその競技をするほか、トラック・フィールド内に立ち入ることはできない。
- 4 (1) 他の種目と兼ねて出場する者は、その場の審判員に申し出て競技の進行に支障のないようにする。
(2) 点呼に遅れた者、点呼用紙に○が付いていない者は棄権したものとして処理する。
(3) アスリートビブスは胸背両部に確実に縫いつけ、端を折ってはならない。ただし、跳躍競技については胸・背のいずれかでよい。(トラック競技については腰ナンバーを使用する)
- 5 トラック競技で棄権者がある場合はそのレーンをあけておく。
- 6 トラック競技の予選のレーン順及びフィールド競技の試技順は、プログラム記載の通りとする。準決勝以上のトラック競技のレーン順は、本部(番組編成員)で公平に抽選決定し、競技者招集所に掲示する。なおプラス進出者は全競技者より選び、その規定数より多く着差がない場合、その同タイム着差なしの競技者本人により抽選する。
- 7 ポール以外の用具は競技場備え付けのものを使用する。練習用としても用具を場内に持ち込んではいない。但し、ヤリは検定の上使用してもよい。検定は用器具庫で競技開始 1 時間前に行う。
- 8 跳躍競技のバーの上げ方(天候その他の事由により変更することもある。)

男子走高跳	135 (練習)	140	145	150	155	160	165	170	175	以後 3 c m
女子走高跳	120 (練習)	125	130	135	140	145	以後 3 c m			
男子棒高跳	340 (練習)	350	360	370	以後 1 0 c m					
女子棒高跳	160 (練習)	180	200	220	240	以後 1 0 c m				

同成績の場合における 1 位決定のためのバーの上げ下げは以下の通り。
走高跳(男女) 2 c m 棒高跳(男女) 5 c m
- 10 三段跳の踏切板は男子 9 m と 1 1 m、女子 7 m と 9 m 地点(並行)に設置する。
- 11 決勝競技が終了後表彰式を行うので、アナウンスにより直ちに集合のこと。
- 12 リレー競技のオーダーの提出は、招集完了時刻の 1 時間前までに競技者係に提出すること。(用紙は競技者係から受け取る)
- 14 セパレート競技においては、決勝線通過後自分のレーン(曲線)に沿って走り、他の走者の妨害をしないようにする。
- 15 1,600m リレーの第 2 走者の第 2 コーナー(その位置は緑色の線とブレイクラインマーカーをもって示す)まではセパレートとし、以後はオープンとなる。
- 16 スパイクピンは 11 本まで、長さは 9 mm 以下とする。
- 17 ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話などは競技場内に持ち込まないこと。
- 18 助力については、競技場内での助力は一切禁止とする。今回はコーチングエリアを設置しないため助言については該当種目の競技役員の指示に従い競技運営や他の競技者の競技の妨げにならない範囲で認める。また映像機器は競技役員に確認し競技者に見せることはできるが、手渡ししてはいけない。